

第2号様式（1）：機能要件

区分	機能要件			事業者 チェック欄
	大項目	中項目	小項目	
データ管理機能	観光客データ管理	観光客データ登録機能	担当者が観光客の情報を個別及び一括で登録しデータベースに蓄積できること。 観光客データの件数は10万件以上登録可能なこと。 観光客あたりの登録データ項目は30項目以上登録可能なこと。	
		観光客データ編集機能	担当者が観光客の情報を個別及び一括で追加、編集、削除ができること。	
		問い合わせ管理機能	観光客からの問い合わせ、対応履歴が観光客データに紐づけて登録、編集できること。	
	県内観光関連事業者データ管理	事業者データ登録機能	担当者が県内観光関連事業者の情報を個別及び一括で登録しデータベースに蓄積できること。 データの件数は3万件以上登録可能なこと。 事業者あたりの登録データ項目は30項目以上登録可能なこと。	
		事業者データ編集機能	担当者が事業者の情報を個別及び一括で追加、編集、削除ができること。	
		事業者との取引記録登録機能	職員が事業者とのやり取りを、事業者データに紐づけて登録、編集できること。	
	共通機能	ユーザー作成	データ管理を行うユーザ用にID、パスワードを発行できること。	
		アクセス権限管理	ユーザごとに参照、編集可能なデータ、項目をコントロールできること。 また、データへのアクセスログを1ヶ月保存すること。	
		ユーザ別データ閲覧	ユーザがよく利用するデータを閲覧しやすくするために、期間およびリストを選択(複数可)して、特定条件の観光客及び事業者データを表示できること。	
		検索機能	検索条件を指定した顧客又は事業者リスト一覧表示、結果のソート、検索条件の保存、リストの結合ができること。	
		顧客データ出力	検索条件を指定した顧客又は事業者リストの一覧をcsv等にてダウンロードできること。	
		帳票作成（レポート）	システム内に蓄積される情報を任意の帳票を表示できること。レポートに盛り込む項目（複数設定含む）を設定で容易に変更できること。レポートの情報は様々なグラフで表現可能なこと。	
		ダッシュボード	複数のレポートに関するグラフを一元的に表示する機能を有し、表示する要素を設定で変更できること。	
		バッチ処理	更新データに応じて、バッチ処理で情報を更新できること	
	データ集計	検索にヒットした、顧客の人数や売上金額の合計などを集計できること		
データ活用機能	マーケティングオートメーション	コンテンツ作成機能	テンプレートの管理、コンテンツのパーツ管理の仕組みを備えること	
		配信管理機能	マルチチャネル（メール、SMS、LINE等）に対する配信機能を備えること また、各配信や登録データの送信に必要な連携機能を各チャネル用に保持すること	
	データ管理機能	日時指定・繰り返し機能	メッセージ配信日時を設定でき、特定頻度（日、週、月、曜日）での繰り返しや、終了期間の設定ができること	
		送信到達性・信頼性	DKIM、SPF等、送信到達性・信頼性向上のための設定を行える機能が存在すること	
		GUIでの設定機能	メールの出し分けや処理の遷移フローなどをGUIで設定可能であること (例、開封有無による処理分岐、購買有無等、内部データを参照した分岐)	
		履歴管理	顧客への配信履歴、開封履歴、クリック履歴等をログデータの形で取得可能なこと	
		SQL機能	内部で保持するデータに対し、SQLでの集計・加工ができること また、出力先テーブルの作成・コピー・削除ができること	
		セグメント抽出機能	SQLを用いることなく、内部のデータに対して、特定項目に対する条件を指定して、対象のセグメント（レコード）を抽出できること（フィルター機能）	
		配信リスト作成機能	上記、フィルターやSQLにより抽出したデータを配信リストとして使用可能なこと	
		コンテンツ出し分け機能	内部の顧客データまたは特定条件に基づき、顧客ごとにコンテンツの内容を出し分け表示可能なこと。またその処理を記述する開発言語を有すること。	
		ファイル連携機能	csv等のファイルを内部のテーブルへ取り込み、エクスポートできること	
		レポート連携	メールの開封、クリック、についての履歴をレポート画面で表示できること	
	外部連携	SFTPサーバー機能	外部のSFTPサーバーからのファイル受信機能を備えること	
		API機能	外部接続可能なAPIが提供されていること	
		CRM連携	代表的なCRMサービスとの接続機能を備えること	
	分析機能	分析サポート機能	配信結果を基に、配信時間や配信頻度の最適化、またはそれに準ずる機能を備えること	
		利便性	状況把握のためデータ分析ツールについてはVizQLなど初心者でも容易な方式を選択すること。	
		データ連携	外部システムからのデータへの接続など拡張性の高い分析プラットフォームとすること。	
	データ連携機能	アカウント情報連携	スマホでみえ得利用ユーザ	①スマホでみえ得、②旅程作成、③地域OTA、④スマホでみえ得キャンペーンからポイント付与と情報をプラットフォームにて用意したAPI経由で取得し、顧客管理システムの観光客データ（キーはメールアドレス）に紐づけて追加する。※ポイント付与のデータはファイルによる連携も想定すること
旅程作成利用ユーザ			旅程作成システムから日次で出力されたユーザデータ（追加・変更・削除）を顧客管理システムの観光客データベースに追加する。その際、登録済みのメールアドレスがある場合は同一ユーザとみなし、データの結合を行う。	
地域OTA利用ユーザ			地域OTAシステムから日次で出力されたユーザデータ（追加・変更・削除）を顧客管理システムの観光客データベースに追加する。その際、登録済みのメールアドレスがある場合は同一ユーザとみなし、データの結合を行う。	
電子チケット利用ユーザ			電子チケットシステムから日次で出力されたユーザデータ（追加・変更・削除）を顧客管理システムの観光客データベースに追加する。その際、登録済みのメールアドレスがある場合は同一ユーザとみなし、データの結合を行う。	
ポイント情報連携			ポイント付与データの取り込み	①スマホでみえ得、②旅程作成、③地域OTAシステムからそれぞれAPIもしくは日次でポイント付与データを取得し、顧客管理システムの観光客データ（キーはメールアドレス）に紐づけて追加する。
		ポイント付与データの出力	②旅程作成、③地域OTAシステムからのポイント付与情報を日次で集計し、①スマホでみえ得システムへファイルにて連携を行う。	
		ポイント利用データの取り込み	①スマホでみえ得システムにおいてポイントが利用された場合は、できるだけ速やかにデータを受領し、観光客のポイントデータに反映させること。	
		ポイント履歴の表示	観光客に付与されたポイントの履歴をユーザ単位で、時系列に表示できること。	
その他データ連携		アンケート結果登録機能	イベントやキャンペーンで収集したアンケート結果のデータを、顧客データに紐づけて一括で登録できること。	
		旅程プランデータ登録機能	観光三重のホームページにて観光客が作成した、旅程プラン作成データ（スポットID、交通手段など）を、顧客データに紐づけて一括で登録できること。	
		電子チケット利用データ登録機能	クーポンなどの電子チケットの利用データ（利用日時、店舗など）を顧客データに紐づけて一括で登録できること。	
		外部データ連携機能	天候予報データサービス等の外部（または独自）データを取得・連携・活用ができること。	
		API機能	外部システムとのデータ連携用にSOAPやRESTプロトコルに対応したAPIが提供されていること。将来的に外部システムが追加された場合にも、追加のAPI開発が不要な用にデータを編集するためのAPIを準備すること。	

※「事業者チェック欄」については、要件を満たしている項目に○を記入すること。（要件を満たしていない項目があれば提案不可）